

# CONTENTS

- 女子大・短大に「えこきゃんぱす研究会」(3面)
- 就職活動奮戦記～今春卒業生～(5面)
- 国際大 若き起業家の電子メール座談会続き(6面)
- 滝井高バレ一部とフェンシング部 平田さん インターハイ出場(6面)



**グローバルマインド**  
 発行/(学)大阪国際学園広報室  
 〒570-8565守口市藤田町6-21-57  
 ☎06(6902)0787(代) FAX06(6902)8961  
 Eメール:lkoho@hq.oiu.ac.jp

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

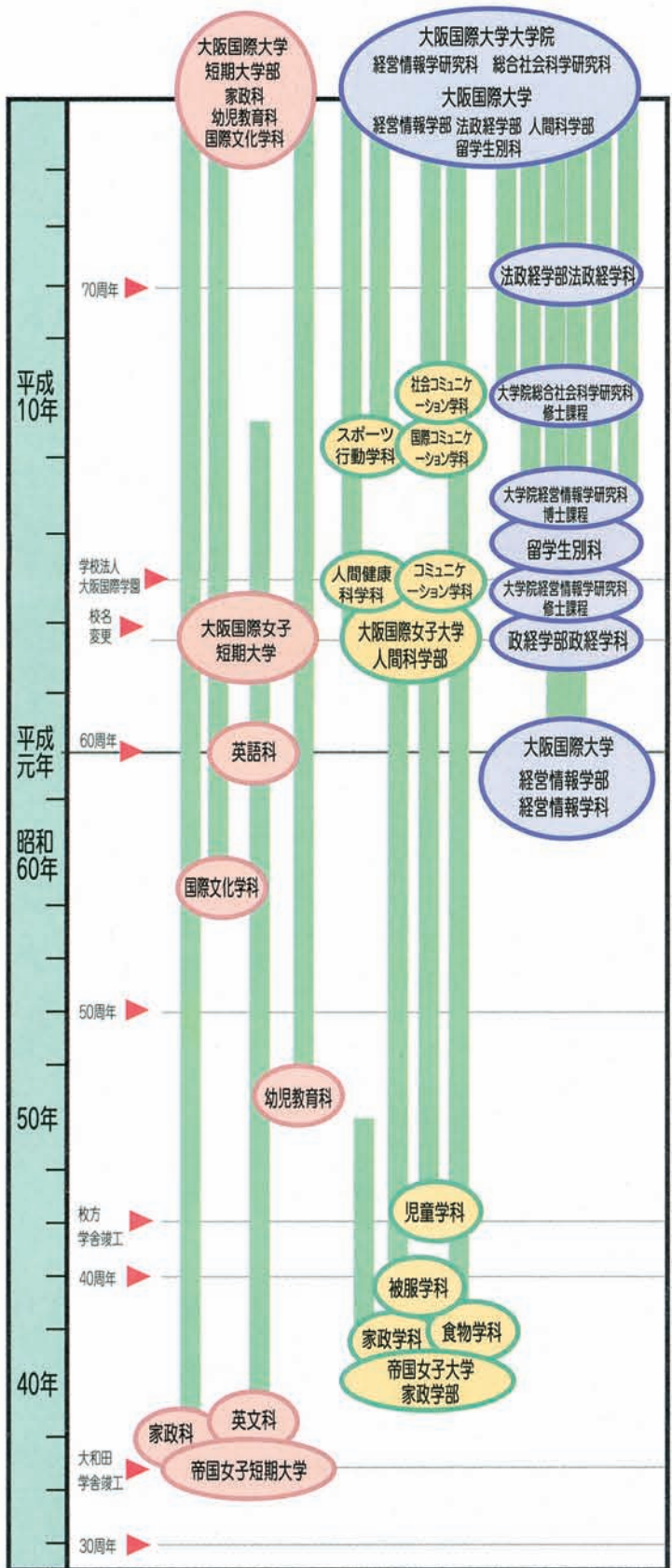
大阪国際大学(OIU) 大阪国際女子大学(OIUW) 大阪国際女子短期大学(OICW)  
 大阪国際滝井高等学校(OITH) 大阪国際大和田高等学校(OIOH)  
 大阪国際大和田中学校(OIOJ) 大阪国際大和田幼稚園(OIOK)

### ◆ 独白 ◆

大阪国際学園  
理事長 奥田吾朗

一面を飾る「女子大の男女共学化、大阪国際大と統合」の見出し。本学園・学校の今日の発展を支えていただいた女子大の卒業生や学生、保護者をはじめ、学生の出身高校等、多くの関係者に驚きを与えたことだろう。永く女子教育のメッカを任じてきただけに、驚きよりも衝撃を受けたかも知れない。そのことは十分予想できた。それでもなお改革に踏み切ったのは、男女共学の社会への教育機関の任務をまっとうすることで新世紀における活路を求めたものだ。日々の新聞で企業の合併・提携、業態の変更はめまぐるしいが、同様に新世紀にも社会的使命を果たそうという備えなのだろう。願わくば、「大学・短大の変遷図」で明らかかなように、学部・学科構成や名称は移り変わってきた。常に前向きに時代の要請に応えようとした結果であった。今回の大改革も、それぞれの時代における学生・教職員・職員の懸命の頑張りを礎に、21世紀の「大阪国際大学」づくりに励もうとするもの。

## 大学・短大の変遷図(平成14年度時点)



# 女子大 男女共学化、大阪国際大と統合

## 短大は「大阪国際大短大部」に名称変更(14年度実施へ)

### 学園改革準備室の3大学将来構想、理事会・評議員会承認

昭和4年の高等女学校設立を嚆矢に、時代の荒波にもまれ、ことごとく成長し、現在では幼稚園から中・高校、短大、大学、大学院を擁する「大阪国際学園」。しかし、新世紀を目前にして少子高齢化社会や男女共生社会が進展するなど学園を取り巻く環境が大きく様変わりした。そこで、学園や設置諸学校が21世紀にも社会的に確固たる地歩を占めるよう将来計画を検討する「学園改革準備室」(準備室長、奥田吾朗理事長)を設け、鋭意検討を重ねてきた。その結果、男女共学化は学園改革の重要な柱であると位置づけ、大学・短大の将来計画の方向性として概略①大阪国際女子大学人間科学部を平成14年度から男女共学とし、同時に「大阪国際大学」と統合する②大阪国際女子短期大学も平成14年度から「大阪国際大学短期大学部」と名称変更する一との結論に至った。そして5月の定例理事会・評議員会において、この方向で各大学での検討、文部省等との交渉を進めることが承認された。ただちに理事長名で所属長を通じて教職員に発表(5月29日付)するとともに、理解と積極的な協力を呼びかけた。また、各大学では来年度の学生募集活動も本格化するため、ドラスタックな変容を遂げることに女子大を中心として理解を求めている。

### 将来計画委の答申を具

今回の3大学の方向づけは、学園の基本的あり方にかかわるだけに、約2年にわたる慎重で真摯な検討、それでいて大胆かつ大局的見地からの学内外の現状把握と分析を経て、21世紀における学園及び大学のあるべき姿を探った結果である。それだけに道程は必ずしもそう単純ではなく、関係者の苦悩や呻吟がもれたことも一度ならずあった。昨年、平成11年度が学園創立70周年に当たるため、10年6月に記念事業委員会を設け、その準備に取りかかった。ところが、10年前の60周年記念時とは学園を取り巻く諸事情が一変しており、70周年以後、21世紀における学園、諸学校のあり方を再検討・再構築する必要性を認識。その年の10月に理事会諮問機関としての「学園将来計画委員会」(委員長・奥田理事長、各専ら委員17名)を設けること



になった。年あけから大学や中学・高校、垂直連携など分科会による幅広い協議を積み重ね、11年11月7日の記念式典を前にした9月、現状分析による問題点を洗い出した上で学園各校の進むべき方向を示した答申を提出。教職員対象の記念式典で理事長は答申を踏まえ、教職員の意識改革を訴え、ともに、平成14年度をめどに3大学統合の方向を発表した。

### 新生「大阪国際大学」をアピール

70余年の歴史を刻んできた本学園は高等女学校の創設以来、一貫してながく女子教育に徹して女子総合学園としての発展を遂げてきた。しかし国際化の進展などに対応するため、将来を見通した経営の安定と教育向上による社会への貢献を目的に、女子大・短大と併存して昭和63年に男女共学の大阪国際大学を開設した。その目的はいまも必要措置が講じられた。

### 学内外に理解求める

この方向決定はただちに学長・校長等の所属長を介して全教職員に周知され、理解と積極的な協力を呼びかけた。また昭和40年の開学来、女子大に限っただけでも3,403名が卒業したほか1,871名が在学。そこで学生や同窓会に対しても、不安や動揺がないよう配慮し、必要措置が講じられた。

一方、この決定時からしばらくも次年度の学生募集活動が始まるとうとしていた。最も影響が大きい女子大・短大担当課では、高校訪問時や一部高校へは文書を通じて、なが年にならぬ女子教育へのご理解と本学の求める学生を推薦していただいたことへの感謝を申し上げるとともに、詳細は今後文部省との接渉や申請・認可を待つとして、学園の進む方向についてご理解を得るよう努めている。

### 作業部会で鋭意検討開始

計画通り14年度実施の改革を成し遂げるには、13年度春に文部省への諸認可申請や届の提出が必要となり、残された時間は多くない。このため改革準備室内にいくつかの作業部会を設け、検討に入っている。

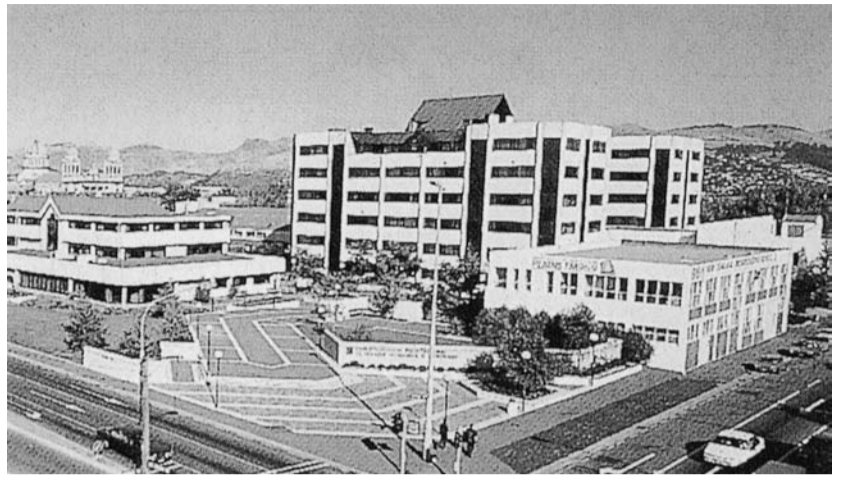
を開催することになった。5月中旬に至って成案をみて、常任評議員会を経て5月26日の理事会・評議員会で、大学の将来構想に係る方向性として以下の2点につき各大学での検討及び文部省との交渉等を進めるべく承認を得た。

- ①大阪国際女子大学人間科学部を平成14年度から男女共学とし、同時に大阪国際大学と統合する。ただし、スポーツ行動学科については、その特性に鑑み、施設設備等の観点から平成14年度からの男女共学化が困難であると判断される場合には、当該学科についてはのみ男女共学化を先送りする。
- ②大阪国際女子短期大学を平成14年度から「大阪国際大学短期大学部」に名称変更する。

な学園の根幹をなすが、加えて「男女共生の社会」にあって男女共学化によって一層時代の要請に応えることも学園の使命のひとつであり、学園の教育理念である「21世紀を担う人材の育成」をさらに飛躍させるものという考えから、男女共学化は学園改革の重要な柱と位置づけ、女子大の男女共学化と国際大との統合に踏み切ることにした。なお、学園将来計画委員会答申では3大学の統合という表現だったが、今回の統合計画による組織的には大阪国際大学と大阪国際女子大学の2大学統合によって新たな大阪国際大学を指し、「短期大学部」名称に変更の短大と構成される。「大阪国際」大学・短大部にすることで、学園教職員の一体化意識醸成を期し、学外には短大を含めた新生「大阪国際大学」を強くアピールしていきたいとの意図がある。

# クライストチャーチ工科大学

(ニュージーランド)



約100年の歴史を誇り、国立の総合高等教育機関であるクライストチャーチ工科大学

の日本語学科から平成10年度に1名、平成11年度には2名の学生が本学に派遣され、今年度は4名の学生が本学のキャンパスで学んでいます。これらの学生は外国人特別科目履修生として10カ月間日本語と日本文化の学習をし、取得した単位の一部は工科大学の卒業単位に読み換えられます。

一方、本学からは毎年2名の学生を工科大学インターナショナルスクール(英語コース(5カ月)に派遣しています。今まで派遣された学生は日本へ帰ってからTOEICを受験し、かなりの高得点を獲得しています。また、毎年1名の学生を工科大学の日本語授業にティーチングアシスタントとして派遣して、大変喜ばれています。

外国語学科、ビジネスコンピュータ学科、デザイン学科、看護学学科などがあります。その

## 提携校紹介

### 大阪国際女子大学

# 9年に提携、教育・文化交流促進の拠点に

は約100年の歴史のある国立の総合高等教育機関で、ニュージーランド・クライストチャーチ市の中心街から徒歩10分ぐらいの所にキャンパスがあります。全体で約5,000名の学生が学んでいます。学士コースには

他、多種の資格を取るコースも用意され、ニュージーランド政府公認の資格を取ることが出来ます。平成9年に同工科大学と本学は提携し、毎年数人ずつの学生交換を行っています。工科大学

日本に対して強い関心を持っており、今後、本学がニュージーランドとの教育・文化交流を促進させる上で、重要な拠点になるのではないかと考えています。(大阪国際女子大学・短期大学 国際交流室長 滝本 襄)

## 豪州「スコッチオークバインカレッジ」

### 姉妹校生らが来校

#### 大和田中・高 歓迎式典や授業を受ける

大和田中・高校に6月9日、オーストラリアの姉妹校スコッチオークバインカレッジの生徒19名と教員2名が来校し、歓迎

式典が奥田メモリアルホールで行われた。本校ブラスバンド部による両国歌演奏で始まり、同部の音楽演奏やスコッチオー

クバイン生による歌などが披露された。本校はこれまで他の多くの姉妹校と定期的に交流を行っているが、スコッチオークバインカレッジは初めて。昨年この時期はオーストラリアの姉妹校、ローンセストン・チャーチ・グラマー・スクールとセントマイケ

ルズ・カレッジエイト・スクールの生徒が来校している。一行は約1週間、ホームステイをしながら授業を受けた。大阪・京都を観光といった充実の日々を過ごし、6月14日に帰国した。



奥田メモリアルホールで行われた歓迎式典(大和田中・高)

## 滝井高にも豪州から姉妹校生

「トウラックカレッジ」

また、滝井高校でもオーストラリアの姉妹校、トウラックカレッジから交換留学生が来校。例年行われており、今年度は4名の生徒がホームステイしながら語学研修等を行った。

期間は5月29日から6月23日(帰国は24日)まで、授業を受けたほか、東京や広島を見物したりもした。

大阪国際女子大学 特別留学生 (平成12年度) (敬称略)

女子大  
笹内美里(コミ4)▽池田文子(国際コミ2)▽土澤明子(人健4)▽桑原智子(スポ4) 短大

伊東由貴▽畑部真理子(以上家政2)▽福田かな▽大川昌子(以上幼教2)▽小林陽子(国際2)

国際海外派遣学生 朴 恩恵(経情2)▽昇 葉子(同3)▽秋尾哲哉▽三井秀剛▽西陽子▽島田一佳(以上政経3)

女子大日本語教員アシスタント派遣生  
田上理恵▽中村美智留▽田付麻衣子(以上国コミ3)▽和田美紗子(同2)▽衣笠未来(スポ4)▽四方里沙(社コミ3) 短大海外短期留学生  
村上景子(家政1)▽竹内智香(国際1)

## クラブ活動

女子大・短大  
ソフトボール部  
4月15日 関西学生ソフトボール1部リーグ 5位

バレーボール部  
4/8・9 近畿6人制バレーボール総合選手権大会 3位  
4月15日 関西大学1部リーグ 3位

大和田高校  
剣道部  
3/29 全国高校剣道錬成大会出場  
ソフトテニス部  
3/24・25 第10回全国高校女子選抜インドアソフトテニス研修大会 参加  
ソフトボール部  
4/7・9 第4回全国高校選抜岐阜大会 準優勝

大和田中・高が昨年度から実施している地域清掃(藤田西公園、弥治工前前公園)は、今年度も始業式と終業式の各学期2回ずつ計6回実施予定。

ボランティア精神の育成、環境問題への意識付け、地域住民(学校周辺・駅前・通学路)との調和を目的に行われ、高校2、3年生が始業式、高校1年生と中学生が終業式に当該学年各クラス5名程度ずつ、それぞれ清掃する。

昨年度の反省を踏まえ、学年所属の教員が最低2名付き添うことや、美化担当職員が大型ビニール袋・火ばさみなどを用意する形態をとる。

## 直言



「自然」という言葉が好きである。かつて登った氷雪のヒマラヤ、日本アルプス。失われゆく原風景の里山。魚や虫たちと出会った淀川の水辺。自然は、都会育ちの私にも幸い、ヒトが自然の一部であることを体得させてくれた。

好きなのは、そんな「自然」だけではない。複雑きわまりないこの文明社会が目指すべき姿としての、「自然な在り方」の、自然もある。環境分野で言うなら、自然・環境から「自然」

にある。「環境の時代」と言われるが、私たちは、「不自然」のシンボルのように公共事業などで乱開発を続けている。教育でも、ごく一部の学校を除けば環境教育は進んでいない。恐らく、「不自然」である受験教育が、自然・環境から「自然」

ら、地球的規模の破壊が大きな問題となり、ようやく「持続可能な開発」や「循環型社会」への取り組みが始まりました。それは、「自然」な在り方への道だと思ふ。けれども、そんな「自然」に向けた動きも、まだ模索のなか



Caroline Cato (写真右)



Elizabeth Rennie (写真左)

## A Trip to Japan

滝井高校派遣留学生

Caroline Cato (写真右) Elizabeth Rennie (写真左)

After a long and boring flight to Japan, myself and three other Toorak College students arrived, preparing to begin a four week exchange with our sister school Osaka International Takii High School.

We all met our host families for the first time at the Kansai International airport each with our own fears to conquer. When we departed we went to our new homes to begin adjusting to the Japanese ways of life.

Even the most simple things like toilets were different. I think we all found it a bit of a culture shock but we are all slowly adjusting to it.

One of the strange things that we have all noticed is the shoes. They have a pair for driving the car, a pair for inside, a pair for outside, a pair for the toilet, a pair for school and many casual outside shoes. And we cant forget the lovely pair for the shower. We have found this rather amazing and something that Australians would never do!

We have visited many different and exciting places that have made us open our eyes to the Japanese culture and religion! One thing about the religion that we have all found interesting is that these huge and beautiful shrines or castles have been dedicated to one particular person. The history and stories hidden within the museums are simply amazing! The Osaka Castle is all about the history of a man who once led Japan. The tale of his journey was displayed magnificently and the artifacts they had on display allowed us to try and understand how life may have been in those days.

The number of people commuting to and from work and school via the train system is a nightmare. We all find it rather amusing because in Australia, if that amount of people who go on the trains in Japan went on the Australian trains then they would buckle under the pressure and fall apart!

We have also found the people in Japan to be very friendly and helpful especially at Takii High school! The welcome we have received from the staff and students of Takii have been overwhelming but fantastic. Even though we have only been here for two weeks we feel like we have made life long friends.

Our host sisters and families have made us feel very welcome and part of the family. We would like to say a big thank you to them! We would also like to say thanks to Takii High school for making our stay as enjoyable as possible.

By all of us!  
(平成12年5月27日から6月24日まで滝井高校に交換留学)

## 留学生レポート

### 印象深かった勉学の自主性

大阪国際女子大学 スポーツ行動学科4回生 増井 美奈子

「美奈子は日本に帰ります。でもきっとすぐに戻って来る、そう願っています」。帰国前先生が突然こうおっしゃいました。すると他の先生も私を見て、「本当?いつから?」と口々におっしゃいました。

オーストラリアで出会った宝物は、数え切れない程あります。しかし、一番心に残っていることは、この言葉と生徒の勉強に対する気持ちです。私達は、「しないといけない、仕方なしに」といった気持ちで勉強する事が少なからずあると思いますが、ここでは違いました。自分から日本語を知ろうという気持ちがとても強かったです。それは先生も同じで、すごく楽しんで生徒と一緒に授業をしていらっしゃいました。初めは「私の日本語は大丈夫なんだろうか?アシスタントとして何が出来るのだろうか?」などと考えたりしましたが、ここはもうオーストラリア。「思いっきり楽しんで、精一杯やればいい」という気持ちが溢れてきました。その結果が先生のおっしゃった言葉であり、授業が終わった時のみんなの涙とHUG(抱擁)のプレゼントであったと思います。

生徒が自分の気持ちや、意見を日本語で相手に伝えられた時の顔を、私は忘れる事が出来ません。限られた時間の中で、将来の夢を語り合ったりして、彼女らにとって母国語ではない日本語で深い交流を持つ事の素晴らしさを身を持って感じました。人々の温かさを感じながら、この様な機会を掴む事が出来て本当に良かったなと思いました。学校を去る日も、たくさんの人々に囲まれ、抱えきれない程のお花と感謝の気持ちで胸がいっぱいでした。それが一番の宝物です。

(平成12年2月21日~3月26日、Toorak Collegeへ日本語教員アシスタントとして派遣)

# 第13回 グローバルマインド賞

## 全国向け、作品応募を呼びかけ中

13回目を迎える高校生論文コンクール「グローバルマインド賞」の応募要項が決定し、全国の高等学校(約4,400校)へ6月上旬、要項を送付。また、6月9日には毎日新聞紙上において、全国向けの社告を掲載。さらに大阪府を中心とした高等学校への訪問や、新聞広告紙面での告知など募集活動を行っている。

今回から大島 靖氏(元大阪国際交流センター会長)に代わり、国際法政経学部長の川又良也教授が審査委員をつとめることになった。他の審査委員は例年通りの▽梅棹忠夫氏(国立民族学博物館顧問)▽岡本道雄氏(元京都大学総長)▽森 毅氏(京都大学名誉教授)。

今年も文部省、大阪府、大阪府教育委員会、(財)大阪21世紀協会、(財)大阪国際交流センターの後援をいただき、また紀伊國屋書店、JTB教育旅行大阪支店、(株)インターナショナルトラスト(大阪国際学園グループ)から副賞品が提供されることとなった。

毎日新聞社との共催を始めて今年で5年目となるグローバルマインド賞。応募作品も年々増え、昨年の応募作品数は計1,764編となった。また、作品数の増加だけでなく、応募要項

### 応募要項

- ・テーマ「世界の中の日本と私」
- ・応募資格 高校生(平成12年4月現在、高校在学の方)
- ・応募方法 400字詰め原稿用紙(A4横書き)5~10枚
- ・締切り 今年9月30日
- ・発表 今年12月中旬
- ・応募先
  - \*〒530-8251 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞大阪本社事業本部内 グローバルマインド賞実行委員会
  - TEL06-6346-1837
  - FAX06-6346-1832
  - \*〒570-8555 大阪府守口市藤田町6-21-57 学校法人 大阪国際学園広報室内 グローバルマインド賞実行委員会
  - TEL06-6907-4308
  - FAX06-6902-1896

## 女子大・短大の一新をきっかけに

### 「えこきゃんぱす研究会」誕生

#### 「ボランティア」「野外活動」研究会も

女子大・短大にユニークなクラブが今春誕生。その名も「えこきゃんぱす研究会」。公害や自然環境の破壊に反対して、自然との共存を求める運動のローガンである「エコロジー」をとり、「エコロジーな大学を目指すぞ」とこの名称がつけられた。部員は4回生7名、3回



えこきゃんぱす研究会のメンバー

生5名の計12名で、毎週金曜日の昼休みに活動。活動内容は環境についての学習や、環境に優しい大学づくりプランの提案など。

発足のきっかけは、顧問である女子大人間健康科学科の下野辰久教授のゼミ生たちが環境問題を学び、興味をもったのが

はじまり。女子大・短大の学生に広く入部を呼びかけているものの、現在部員は全員下野ゼミの学生。部員である石谷 茜さ

んと横瀬衣美さん(どちらも女子大人間健康科学科4回生)は「ゼミ生以外の学生に入部してもらいたいのはもちろん、開放的な大学を目指し、地域ぐるみで取り組んでいきたい」と話している。

「大学が目に見えて変わった」を部の目標に掲げ、壁新聞の「えこきゃんぱす」(女子大・短大のホームページにも掲載)も発行し、積極的に活動している。「えこきゃんぱす研究会」活動の発展に期待したい。連絡先は下野研究室。

方市東部に立地する大阪国際大。だが枚方市のとりわけ東西を結ぶ道路事情が悪く、交通渋滞は年ごとに深刻化。市の玄関である西部の京阪枚方市駅からの通学・通勤者にとって大学隣接地で事業が進む第2京阪道路(愛称・緑立つ道)の早期完成に期待は高まる。大阪府や枚

方市は、第2京阪の平成14年度末部分併用に合わせ、都市計画道路の枚方藤阪線・枚方東部線の建設を急いでいる。とりわけ枚方藤阪線が完成すれば、国道307号の渋滞が大幅に緩和されることから、計画通りの開通を大学あげて待ち望んでいる。第2京阪道路は、京都府久御

山町と大阪府門真市を結ぶ自動車専用道路の第2京阪道路と国道1号バイパスの併用大幹線。国道307号以北をまず部分開通させる予定で、14年度末完成を目指し大学周辺でも工事に着手した。

しかし、307号は混雑がひどい。第2京阪の交通量が増えれば渋滞に拍車がかかるのは必至で、枚方市は307号と並行するかたちで京阪枚方市駅

0.01区間は、大阪国体開催時の平成9年秋に開通している。その東、府営山田池公園に沿った部分はほぼできあがり、JR学研都市線(片町線)の藤阪駅をさむ東西部分も約8割の用地買収を終え、順次建設中。今後は大学に近い杉地区での用地買収に乗り出す。

担当の枚方市土木部幹線道路課では「完成時の1日交通量予測は、307号約1万9,000台、枚方藤阪線約9,000台で、307号はかなり緩和されるはず」とその効果を強調。ただ、今後とも用地買収に力を入れるが、予定通り開通させられるかどうかは地権者の協力がカギとなる。

一方大阪府は、国道307号の混雑緩和策として、都市計画道路・枚方東部線(延長約3キロ、幅14m)を建設中。平成8年から工事に入り、今春で約91%の用地を買収した。同線も枚方藤阪線と同じく、第2京阪の部分開通(平成14年度末)に合わせて完成させる計画。

これら2線の完成によって、長年の課題であった枚方市域の東西幹線道路網整備は着実に前進し、国際大と重要ターミナルとの距離が縮まる。

外活動研究部などのクラブも誕生。これで本学のクラブ数は運動クラブが13、文化クラブが12となった。

女子大・短大にはこの他にも「ボランティア活動研究会」、「野外

女子大・短大生涯健康研究所が発行している機関誌「SNUC」の名称が「Health & Life」に変更し、No.は継続してこれからもひとびとの健康づくりに必要な栄養・運動・休養や生活様式に関する総合的な研究成果、健康管理と維持増進に関わるサービス情報を提供していく。

SNUCは、Sports & Nutrition Centerの略で、スポーツ・栄養総合センターが1994年9月にNo.1を発行し、生涯健康研究所に引き継がれてきた。現在、No.11まで発行しており、今後1年、2回発行していく予定。

## 建設中の都計・枚方藤阪線で 国道307号の渋滞大幅緩和を

### 平成14年度末の第2京阪部分開通をメド



東に向けて建設進む枚方藤阪線(正面はJR藤阪駅)



1日9千台を予測する枚方藤阪線

と大学近くで307号と結ぶ都市計画道路・枚方藤阪線の建設工事に取り組んでいる。全長約6.6キロ、幅16m(うち両側に4.5mの歩道を設置)。一部は府道杉田口禁野線と重なり、新たに建設しているのは甲斐田東町・津北町間。すでに国道1号から市立体育館横を通る6

女子大・短大生涯健康研究所が発行している機関誌「SNUC」の名称が「Health & Life」に変更し、No.は継続してこれからもひとびとの健康づくりに必要な栄養・運動・休養や生活様式に関する総合的な研究成果、健康管理と維持増進に関わるサービス情報を提供していく。

SNUCは、Sports & Nutrition Centerの略で、スポーツ・栄養総合センターが1994年9月にNo.1を発行し、生涯健康研究所に引き継がれてきた。現在、No.11まで発行しており、今後1年、2回発行していく予定。

女子大・短大生涯健康研究所が発行している機関誌「SNUC」の名称が「Health & Life」に変更し、No.は継続してこれからもひとびとの健康づくりに必要な栄養・運動・休養や生活様式に関する総合的な研究成果、健康管理と維持増進に関わるサービス情報を提供していく。

## キャンパス周辺散歩

行動学科の西岡ゆかり講師。参加したのは同青年会議会会員の主婦ら約10名。

料理講習会を大阪第一食糧青年会議所と共催することで、企業との連携を深め、会員の方々に栄養面からの健康づくりを提案する。また、栄養指導室の活用とジョブサポート学生への実践的教育の場とすることを目的に実施された。

女子大・短大生涯健康研究所が発行している機関誌「SNUC」の名称が「Health & Life」に変更し、No.は継続してこれからもひとびとの健康づくりに必要な栄養・運動・休養や生活様式に関する総合的な研究成果、健康管理と維持増進に関わるサービス情報を提供していく。

女子大・短大生涯健康研究所が発行している機関誌「SNUC」の名称が「Health & Life」に変更し、No.は継続してこれからもひとびとの健康づくりに必要な栄養・運動・休養や生活様式に関する総合的な研究成果、健康管理と維持増進に関わるサービス情報を提供していく。

女子大・短大生涯健康研究所が発行している機関誌「SNUC」の名称が「Health & Life」に変更し、No.は継続してこれからもひとびとの健康づくりに必要な栄養・運動・休養や生活様式に関する総合的な研究成果、健康管理と維持増進に関わるサービス情報を提供していく。

女子大・短大生涯健康研究所が発行している機関誌「SNUC」の名称が「Health & Life」に変更し、No.は継続してこれからもひとびとの健康づくりに必要な栄養・運動・休養や生活様式に関する総合的な研究成果、健康管理と維持増進に関わるサービス情報を提供していく。

21世紀への入試展望

平成13年度

国際大 受験方法さらに工夫 法政経 9月にシンポジウム

13年度入試も一般A・B・Cの3回実施するとともに、次のように受験方法をさらに工夫いたしました。

- (1)一般推薦Aは「英語基礎学力調査」と「小論文」だけ。推薦Bのような資格や実績がなくても学校長の推薦があれば誰でも受けることができます。併願可浪人可は従来通り。(2)推薦Bの「簿記分野」「情報分野」を「簿記・情報分野」一つにまとめ、取得資格の等級を問わず受験を可能とし、さらに「情報処理」や「情報技術基礎」などの科目を修得している場合

は、取得資格が無くても出願資格有りとなりました。(3)試験科目数を一般Aのみを「国語」「英語」「選択科目」の中から2科目とし、一般B・Cは「国語」「英語」の中から1科目にしました。

女子大・短大 輝かしい21世紀に向けて 入試室を募集広報室に改称

西暦2001年度いよいよ21世紀の幕開けとなる学生募集です。輝かしいスタートを切りたいものです。しかしながら、いつまで続くのかまったく先が読めない少子化現象、景気低迷など20世紀からのありがたくないお土産に頭を痛めているところ

で受験できます。(5)帰国生徒も「小論文」と「面接」だけとなります。出願条件も変更いたしました。(6)センター試験利用も一次と二次の2回、一般A・Cに準じて実施いたします。

学外の進学相談など積極参加

本学の場合、短期大学は地方においてもよく認知されており、女子大については十分とはいえないのが現状です。したがって、昨年度に引き続き本学の全般にわたって理解を深めていただくための募集広報体

制を強化し、本学で学びたい志願者の増加に努め入学してもらう方針を踏襲します。そのため学外での進学相談・説明会や高校内説明会に積極的に参加、資料請求者からの質問に対しては確実にフォローし、高校生個人に對してきめ細やかな対応を行います。本学の際立った特長としては、最寄り駅からの利便性

入試室を募集広報室に改称

特に平成14年度から女子大学が男女共学に生まれ変わるための準備が進められていることもあって、平成13年度入試は女子大学として最後の入試ともなります。本学を受験希望の高校生には、これからの募集広報でそのことを周知ご理解いただくために最善の努力をいたします。また、今年度から入試選抜業務より募集広報活動にウエイト

能の多人数合唱 ひつじ書房



あるときには、状況を描写するナレーターという言葉もある。また、どちらにも区分けしがたい、視点の曖昧な言葉が、主人公の身ぶり、仮面の使用などの演出をとめない、しばしば前衛的とも評すべき、表現効果を生んだりする。本書は、このような前衛的表現、ありえなはずだ。

能の上演は、現代の半分程度の少ない人数で、コンパクトに行われていたのだ。演劇が与えている効果も、現代とはおおくことになっていったはずなのである。

福田かなさん(国コミ2) 毎日オープンテニス単で優勝 松浦由季さん(国コミ2) 少林寺拳法単独演武段外で優勝 短大幼児教育科2回生の福田かなさんが5月21日、「第75回毎日オープンテニス選手権大会」の女子シングルスで見事優勝した。

平成13年度 入試日程 学生・生徒募集要項

Table with columns: 選考種別, 出願期間, 選考日, 合格発表日, 入学手続期間. Rows include 修士課程 (経営情報学, 総合社会科学) and 博士(後期)課程.

Table with columns: 選考種別, 出願期間, 選考日, 合格発表日, 入学手続期間. Rows include 推薦 (指定校・併設校, 一般推薦A・B, 帰国生徒入学) and 一般入試 (A方式, B方式, C方式, 留学生入学).

Table with columns: 選考種別, 出願期間(必着), 選考日, 合格発表日, 入学手続期間(必着). Rows include 推薦 (指定校, 特別推薦, 推薦1期, 推薦2期) and 一般 (一般1期, 一般2期, 奨学生推薦, 奨学生, 帰国生徒, 社会人).

Table with columns: 選考種別, 出願期間(必着), 選考日, 合格発表日, 入学手続期間(必着). Rows include 推薦 (指定校, 特別推薦, 推薦1期, 推薦2期) and 一般 (一般, 奨学生推薦, 奨学生, 帰国生徒, 社会人).

Table with columns: 出願期間, 選考日, 合格発表日, 入学手続期間. Rows include 大阪国際滝井高等学校, 大阪国際大和田高等学校, 大阪国際大和田中学校, 大阪国際大和田幼稚園.

第一回 日米女子野球大会 上岡 玲さん 猛打賞 女子大スポー・ソフト部 ツ行動学科1回生の上田 玲さん(写真)が5月1日、西武ドーム球場(埼玉県所沢市)で開かれた硬式野球の、「第一回日米女子野球大会」に日本メンバーの一員として出場した。

間距離も男子と同じ。日本チームは、昨年末のセレクション(全国から120名が挑戦)で選ばれた21名の精鋭たちで、チーム名は「エネルギー」。監督に日本人初のメジャーリーガー村上雅則氏、コーチに元日本ハムファイターズの広瀬哲朗氏と豪華な顔ぶれ。対する全米代表も元女子プロ野球選手と

が、室町時代中期までさかのぼると、「地謡」という言葉が存在していなかったことが確認できる。ということは、現代、その名で呼ばれている役自体が、かつての演じ手たちには、イメージされていなかったということになる。ならば、室町期には「地謡」が登場しない上演さえ、ありえなはずだ。

大阪国際学園 CALENDAR

大阪国際大学

大学院 経営情報学部 法政経済学部 留学生別科
9.4 前期追試験(～5)
9.11 集中講義・通年科目補講期間(～22)
9.25 後期授業開始
10.21 キャンパス見学会
11.3 大学祭(～5)

大阪国際女子大学

人間科学部社会コミュニケーション学科・人間健康科学科
国際コミュニケーション学科・スポーツ行動学科
大阪国際女子短期大学
家政科・幼児教育科・国際文化学科
9.9 キャンパス見学会
9.11 追・再試験(～13)
9.14 集中講義・補講(～20)
9.21 後期開講
9.23 キャンパス見学会
9.29 9月卒業証書授与式(短大)
10.28 大学祭(～29)

大阪国際滝井高等学校

9.1 始業式
9.16 第1回オープンキャンパス
10.7 第2回オープンキャンパス
10.8 文化祭(～9)
10.11 体育大会
10.14 第1回保護者入試説明会
10.20 中間考査(～24)
10.27 遠足
10.27 英語合宿(～28)
11.4 第3回オープンキャンパス
11.15 避難訓練
11.19 第2回保護者入試説明会
11.20 芸術鑑賞

大阪国際大和田高等学校
大阪国際大和田中学校

9.1 始業式
9.16 オープンスクール(高校)
9.23 文化祭(中学)
9.23 オープンスクール(中学)
9.30 オープンスクール(高校)
10.7 文化祭(～8)(高校)
10.8 オープンスクール(高校)
10.12 1年進路講演会(高校)
10.12 授業参観(中学)
10.19 2年進路講演会(高校)
10.24 中間考査(～27)(高校)
10.26 中間考査(～27)(中学)
10.28 入試説明会(中学)
11.2 遠足(中学)
11.4 入試説明会(高校)
11.26 入試説明会(中・高校)

大阪国際大和田幼稚園

8.28 夏季保育(～30)
9.1 始業式
9.14 入園説明会
10.7 運動会
10.20 園外保育



大阪国際女子短期大学家政科 株式会社レリアン 伊藤 久実

私は、業種を特定せずに「販売」という広範囲で就職活動を始めました。3月から資料請求、セミナー参加と決して早いスタートではありませんでしたが、業種を特定せずに活動する事によって、様々な分野の企業研究ができ、自分のやりたい仕事が少しずつ見えてきた。

自分を見つめ直し、未来の扉を開く

つ、明確になっていくのが分かりました。初めの頃は履歴書さえも書けず、先生方がおっしゃっていた自己分析が、どれ程大切な事かがよく分かりました。自分自身を十分に理解していなければ、人の心を引き付けるような履歴書は、

就職活動奮戦記 私が企業に出会ったとき

何になりたいのか、何がしたいのかはまだ見えていなかった私は、3年の2月中旬に初めて友達に連れられてしぶしぶ合同説明会に参加しました。そこで見た光景には、びっくりして焦りました。とりあえず何かしなくては、と居ても立ってもいらなくなりました私は毎日ように企業説明会の予約を入れて訪問し、話しを聞き適性検査を受ける。これでステップアップしている」と言っていた。自分の身近な所から探してみたらどうやうで



大阪国際大学経営情報学部 2000年卒 愛眼株式会社 村田 悦子

自然体で自らを素直にぶつけること

面接に移り聞かれそうなことはあらかじめ用意していたことを淡々と話して終了。もちろんいい返事はありませんが、次の段階への案内がきても行く気がなれなかつたりで、ばつたりと活動を中止しました。そんな壁にぶち当たったとき、頼りになったのは友達でした。同じような経験をしているので痛みがわかるのでしようか。そのときの友達の

書く事ができません。面接も何度も受けましたが、自分の考え伝えたい事を相手に上手に話せずに、落ち込んで自信を失くした時期もありました。しかし、今思えば履歴書を何度書き直し、面接を数多くこなして、場馴れをしてきた事によって、やっと見つけた希望する企業での採用試験に力発揮する事ができたのではないかと思います。就職活動。それは自分を見つめ直す良い機会であり、未来への扉を開く第一歩だではないでしょうか。

資格取得者(敬称略)

- 国際大 TOEIC団体試験 (5月27日実施)
34人中400点以上は6人。
550点以上は次の通り。
経緯4 新井貞恵 水野美穂
女子大・短大
ビジネスコンピュティンク検定
2級合格者 (2月20日実施)
女子大 健4 安田祥子
第25回ワipro検定2級合格者 (5月20日実施)



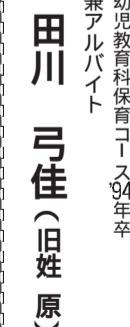
大阪国際大学政経学部97年卒 大阪国際女子短期大学国際公共政策研究科博士後期課程 谷口 真由美

出会うで築く人生

「大学院」と聞いて、どんな印象を持たれるでしょうか? 「大学院ってどんなところなんですか?」とよく聞かれます。説明をするのが非常に難しいのですが(学問分野によっても様々です)私の大学院生活を少しお伝えしたいと思います。大学院には、大きく分けて修士課程と博士課程があります。私は現在、博士課程に所属しており、専攻は国際法です。授業は週に2つあります。週にたったの2つ?と驚かれる方もいらっしゃるかもしれませんが、たった2つの授業に出席するための準備等で、1週間が過ぎていっているような状況です。さて、話題は変わりますが、このレポートはNYで書いています。国連の2000年世界女性会議のために、OIUの小寺初世子教授と一緒に来ています。大学院に行かなければ、このような目的でNYに来ることもなかったでしょうし、OIUに行かなければ大学院進学を考えていなかったかもしれません。OIUでのたくさんの先生方や友人との出会いによって、このような道に進むこととなり、人との出会いによって自分の人生は変わるのだとつくづく実感しています。今回の世界女性会議においても、たくさんの国の方達と交友関係を結ぶことができました。今後、どのような道に進むかはまだわかりませんが、これからも人との出会いを大切に、自分なりに自分のスタイルで道を切り拓いて行きたいと考えています。 E-mail: mtanigu@osipp.osaka-u.ac.jp

OB・OGレポート

「夢は努力すれば、かならずかなう!!」
大阪国際女子短期大学を卒業して、早いもので6年。在学時代の写真を見るときとなつかしい思い出、はずかしい気持ちで一杯になります。なぜなら、私、ブンブクリンのおデブちゃんだった(一応過去形)から……。
その私が、約50kgのダイエットに成功したのは...「大好きな彼と結婚したい!!」その思いがきっかけとなり、約2年ほどで、今の体重になりました。その方法とは、①3食バランス良く食べる。②適度に運動する。この2つを実行し、ダイエットに成功(リバウンドもなし)。そして私の夢は見事にかないます。大好きな彼と結婚。
現在、お腹の中には、赤ちゃんもできて、100歳。
ただ、妊娠してから体重が10kgも増えてしまい、30cmもふくらんだウエストに入る服がナイーと思っていたら、ナントおデブちゃん時代の洋服がピッタリ!! (母が妊娠した時のためにと置いてくれたのです...)
もう、ウレシイやら、カナシイやら...
この「GLOBAL MIND」が発行される頃には、ベビーが誕生している予定です。今度は、愛する我が子のために産後ダイエットにがんばるぞ!! (1997. HONEYMOON IN N.Y.)



大阪国際女子短期大学幼児教育科保育コース94年卒 主婦兼アルバイト 田川 弓佳(旧姓原)

女子大 社会科コミ4 小山朋子
▽神足有紀江▽小松慶子▽同3
村上雅美▽同国際コミ3 田中美香▽谷口智美▽短大国際2 大下麻美▽島山陽子▽武田美穂▽田中裕子▽増田聖子
TOEIC団体試験 (5月20日実施)
66人中400点以上は28人。
550点以上は次の通り。
麻衣子▽奥平真弓▽同国際コミ4
▽中村浩子▽同スボ3 吉村聡子
▽短大国際2 谷口絵美▽同1 竹内智香
5/23 女子大 スポーツ行動学科・人間健康科学科「特別講演会」(6/20) 一步すすんだパソコン講座(公開講座)
5/25 女子大・短大 幼児教育講演会(多文化理解)
5/26 短大 社会コミュニケーション学科の竹内長武教授が「手塚治虫文化賞(朝日新聞社主催)」の選考委員メンバー(朝日新聞掲載)
5/31 女子大 雑誌「ケイコとマナブ」6月号にホストファミリー対象「大学教養講座」の案内が掲載
5月 国際大 作道洋太郎名誉教授が「月刊オール関西4・5月号」に登場スポーツ行動学科の西岡ゆかり講師がお米屋さんの情報誌「大好きごはんVol.5」にコラム
6/2 短大 幼児教育科人形劇団クラルテを招いて実技研修
6/3 女子大 日本経済新聞の「漫画学事始め」と題した記事で、社会コミュニケーション学科の竹内長武教授がコメント
6/8~ 国際大 「図書館お助け塾」講習会(毎週木曜日)
6/9 国際大 大阪新聞の記事で法政経済学部の井戸田 侃教授がコメント
6/9 短大 カナダ オンタリオ州 トウリウム・レイクラント・地方教育委員会と生徒交流に関する覚書調印
6/13 学園 平成12年度教職員表彰(3名)
6/14 国際大 毎日新聞の「裁判長が即決」対話 大津地裁 傍聴席の見学者と」と題した記事で、法政経済学部の井戸田 侃教授がコメント
6/21 国際大 人権問題研究会(テーマ「人権問題の考え方」一部落語を中心として)
6/21 女子大・短大 全学映画会
6/22 国際大 学生相談室特別講演会
6/24 短大 幼児教育科「第13回現職研修会」(講師は全日本音楽療法士の平岡澄子氏)

3/5 学園 総務課の上砂圭子係員がモデルとして大阪新聞に大きく登場
3/6 大和田中・高 人権教育教職員研修会(講師は府立住吉高校教諭の脇田孝彦氏)
3/8 学園 理事の入交昭一郎氏が読売新聞に登場
3/15 女子大・短大 ソフトボール部、大阪日日新聞「学生スポーツアラカルト」に登場
3/21 国際大 日本会計研究学会第49回関西西部会(準備委員長は柴橋正昭経営情報学部教授)
3/29 大和田高 新3年生の中江智司さんが毎日新聞「みんなの広場」欄に投稿、その原稿が掲載
3/29 女子大・短大 バレーボール部、大阪日日新聞「学生スポーツアラカルト」に登場
3/30 女子大 大和田幼稚園長でもある国際コミュニケーション学科の久保和男教授が委員長を務める門真市立適正配置審議会が「門真の小・中4校統合」を市に答申、その記事が読売新聞に掲載
4/3 滝井高 文部省の特色教育振興モデル事業の記事が全学新聞に掲載
4/12 女子大 「資格取得推進ウィーク」開催
4/15 国際大 大学教養講座の案内が広報ひらかたに掲載
4/25 女子大・短大 桜花祭
5/13 大和田中・高 平成12年度PTA「定期総会」マイライフひらかた・かたのに「ホストファミリー募集」の案内掲載
5/15 国際大 「哲学者アドルフに戯曲ハーン原作『きみ子』を翻案」と題し、徳永 恂教授が評論(朝日新聞夕刊)
5/17 国際大 市民大学講座(枚方市社会教育課主催)(5/27、6/3)
5/20 女子大・短大 テニス大会(ひまわり杯)

